

【NO 473】

令和 2 年 12 月

細島港港湾計画一部変更に伴う航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、細島港工業港地区における RORO 船の大型化等に対応するための港湾計画一部変更に係る船舶航行の安全性について調査・検討し、必要な航行安全対策を取りまとめた。

本計画一部変更では、工業港地区の一部を埋め立て 1.3 万 GT 及び 4,999GT RORO 船用の耐震強化岸壁を整備する計画、既設の工業港 1 号及び 2 号岸壁を併用する形での 7 万 GT 級旅客船バースを位置づける計画及びタグボート係留用の物資補給岸壁を RORO 船用耐震強化岸壁の南側に整備する計画があり、各計画について係留施設と対象船舶の諸元等との関係を「港湾の施設の技術上の基準・同解説（平成 30 年 5 月）」に基づき整理・確認するとともに、操船例図を用いて水域施設等と対象船舶又は隣接岸壁利用船舶の入出港操船との関係について調査・検討した。

特に、係留施設に至る航路は、各 RORO 船や 7 万 GT 級旅客船の全長との関係で行き会う余裕が十分になく、さらに航路・泊地は他の入出港船舶の回頭水域と重なる形状であるため、水域利用の調整等による対応策が求められること、また、河川流の影響から航路・泊地の水深が減少していくことが考えられるため、定期的な測深と水深の維持・管理が求められることについて慎重な審議を行い必要な提言を行った。

2 調査等概要

- (1) 調査概要
- (2) 港湾計画一部変更の概要
- (3) 航行環境
- (4) 安全性の検討
- (5) 航行安全対策